

- Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標
- 2030年までに、17の目標の達成を目指す
- キーワードは「誰一人取り残さない」
- 全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動を変えることが必要

みんなで一緒に
SDGs!

未来へつなごう

SDGsって？

SDGsは、2015年に国連で採択された17の目標のこと。地球上には紛争や格差、地球温暖化などさまざまな課題があり、「このままでは人類が地球に住み続けられない」という強い危機感から誕生しました。世界中のみんながSDGsに取り組むことで、誰もが自分らしく、幸せに暮らし続けることを目指すものです。今ある課題を解決することで、今を生きる私たちだけでなく、未来を生きる人も幸せな社会にしていきたいという願いも込められています。

スローガンは「未来へつなごう」

コープデリグループは、SDGsが採択される以前から、リサイクル活動や環境に配慮した商品の取り扱いなど、持続可能な社会づくりに取り組んできました。またコープデリグループの理念・ビジョンとSDGsは同じ社会を目指しています。コープデリグループは取り組みをさらに進めるため、2021年に5つの重点課題を策定。「未来へつなごう」をスローガンに、事業や活動を通してSDGsの達成に貢献します。

大切なのは一人ひとりの行動

SDGsは「コープや誰かがやってくれること」ではありません。大切なのは、一人ひとりができることを考え、行動すること。お買い物するとき、外出するとき、おうちで過ごすとき。一つの行動を、「これは未来につながるかな?」と考えてみてください。みんなが一つずつ取り組み、その取り組みが合わされば、それは大きな力になります。日々のくらしの小さな一歩が、SDGsの達成と持続可能な社会の実現、そして未来を生きる人の笑顔につながります。

貧困や気候変動など、世界で起こるさまざまな課題の解決を目指すSDGs（エスディージーズ）（持続可能な開発目標）。コープデリグループは「未来へつなごう」をスローガンに取り組みを進めています。SDGs達成には、コープだけでなくすべての企業や自治体、そして私たち一人ひとりの取り組みが大切です。

例えば、こんなこと



買い物のとき、価格や味だけでなく、環境への配慮やどこで生産されたかをチェックする



繰り返し使えるつめかえ商品を利用する、できるだけリサイクルする



気候にあわせた過ごしやすい服装を心がけ、電気はつけっぱなしにしない

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

CO-OP ともにはぐくむくらしと未来

※コープデリグループの存在意義、使命

コープデリグループ ビジョン2025

食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。

コープデリグループのSDGs重点課題 ～2030年までの長期目標と中期方針～

I. 持続可能な生産と消費のために

例えば 「1週間にもう1杯お米を食べようキャンペーン～ワン・モア・ライス～」に取り組んでいます。みんなでちょっとずつお米を多く食べることで、お米の生産者への応援と食料自給力の向上につながります。



II. 安心して暮らせる地域づくりのために

例えば 能登半島地震で被災された皆さまへの緊急支援募金（3月まで実施）をはじめ、さまざまな募金活動に取り組んでいます。地域や諸団体と連携し、より良い地域社会づくりに貢献しています。



III. 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して

例えば

- 一人ひとりの人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めています。
- 女性職員がいいきぎと働き続けられる職場づくりを進めています。男性の育児休職の取得を推進しています。



コープデリグループのSDGs重点課題



詳しくはこちら

IV. 100年後の地球のために

例えば 宅配センターやお店、物流施設に太陽光発電パネルを設置。再生可能エネルギーの活用を広げ、温室効果ガスの削減を進めることで、地球温暖化防止に取り組んでいます。



V. 世界中の人々の平和で健康な生活のために

例えば コープの牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもの栄養改善を応援する「ハッピーミルクプロジェクト」に取り組んでいます。

